

めぐみの学校の子

恵田小

校長室だより

令和元年十一月八日

No. 140

実体験を通して

朝の気温がひとけたになり、一気に冬がやってきたように感じる。木々の紅葉はまだだ。恵田小の紅葉は毎年20日ごろが見ごろとなる。少しずつ紅葉も進んでいくだろう。

学校での活動は、教科の学習を行う授業と、行事が中心で、その他、学校生活全体が学びの場となっている。このごろよく言われるが、しばらくすると、AI（人工知能）が、人が行っていたかなり多くの仕事を行うようになるという。また、タブレットパソコンなどのアプリによる自学自習で、記憶を中心とした学習は済んでしまうとも言われている。

このようななか、学校教育の強みは、人とかわりながら実体験を通して学びが行えることである。このことを大切にしていきたい。

6年生は修学旅行、1～5年生は社会見学を行った。これは、人とかわりながら行った実体験である。たいへん価値ある学習である、実体験が大切だと言っても、ただ行わせるだけではいけない。体験の質をあげる指導が必要である。修学旅行も社会見学も事前指導が充実したものとなり、校外での体験学習としてたいへんよいものとなった。

恵田には、価値ある体験を通じた学びがたくさんある。その学びを充実させたい。そして、教科学習を中心とした授業も、「手（体）・頭・心」をフルにはたらかせる体験的なものにし、恵田っ子に本物の、生きてはたらく学力をつけていきたい。



修学旅行、法隆寺にて

恵田っ子へ

心（こころ）が動（うご）いたことを
二学期（にがつき）の恵田小（えだしょう）はたくさんの方があり、恵田っ子の心もたくさん動いていることと思（おも）います。6年生（ろくねんせい）は修学旅行（しゅうがくりょこう）、一から5年生は社会見学（しゃかいけんがく）、どうでしたか。心が動いたことをことばにしておくといいです。そのときのことを残（のこ）せます。ことばが体験（たいけん）といけん）や心の動きと結（むす）びついて、しっかりとことばの力（ちから）もつきます。

まとめをしっかりとしましょう。また、心が動いたときの様子（ようす）を俳句（はいく）に表（あらわ）しておくのもよいです。

写真（しゃしん）をとるようには、ある場面（ばめん）の様子（ようす）を短（みじか）いことばで表（あらわ）しておきましょう。

これまであったことや、これからある収穫感謝祭（しゅうかかくかんしゃさい）、マラソン大会（たいかい）などもよいです。



社会見学、ココニコにて